



町内合同金婚式



明治, 大正, 昭和を生き抜いた夫婦 89 組
170 人を祝う。

写真は, 出席者代表で三献の儀を行う
谷口盛助・スエさん夫婦

昭和五十四年度

決算に見る町のだいどころ

一般会計、水道（黒字） 国保（財政難）

〔一般会計〕

昭和五十四年度の一般会計決算は、歳入総額二十三億一千六百二十二万六千円、歳出総額二十二億五千七百六十八万九千円となり実質収支で五千八百五十三万七千円、財政調整基金に五千三百三十二万四千円を積立て実質単年度収支は七千三百九万七千円と昨年度に続き好決算であります。

しかしながら町の台所は厳しく、五十五年度に計画された大根占中学校改築、公営住宅の建築を始め、今後も学校施設整備や道路等の基盤整備、庁舎建設等数多くの財政需要をかかえており、困難な財政事情のなかでこれらの課題解消策が難題となっております。今後は、一般経費の切り詰め、事業の重点的選択執行など、高率な財政運用を図らなければならないと思われま。

〔特別会計〕 水道事業の決算状況

昭和五十四年度決算の概況は五十三年度五月の料金改訂以来経営は好転し、五十四年度収益的収支では、収入二千八百五十一万一千三百円、支出費用二千一百七十九万一千六百円となり、六百七十一万九千七百円の黒字となっております。

配水量限界 拡張工事は必至

有収水量は、五十三年度より大口使用者の使用減で少なく、生活用水は少しづつ使用料は伸びています。一日最大配水量は施設能力に達しており拡張工事が迫られています。

特別会計

国民健康保険事業の状況

国保財政は火の車

昭和五十四年度国民健康保険事業の決算を紹介しながら、保険税や医療費について考えてみたいと思います。国民健康保険税の昭和五十四年度の決算額と保険給付の状況は別表のとおりです。医療費の高騰とともに税の負担額も増加してきました。税収入については別表(1)に見られるとおり一億三千万弱であります。これを一世帯当たりの負担で見ますと五万四千二百円となっております。昭和五十五年度決算見込みにおきましては、基金の取りくずしをせまられるほどの財源難になるよう、昭和五十六年度においては、保険税の増をお願いすることになりそうです。

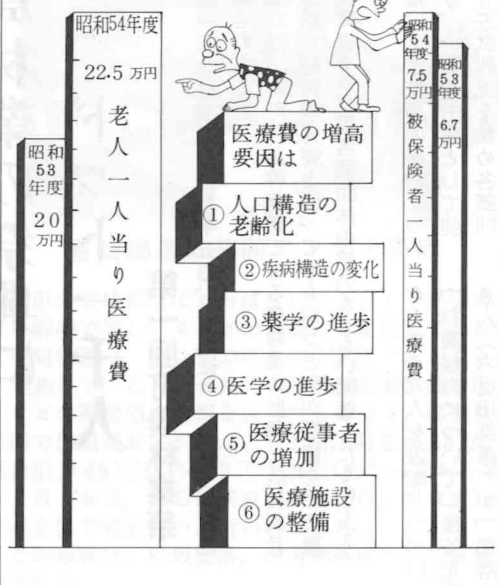
(表2) 昭和54年度保険給付の状況

区分	件数	費用額	区分	件数	費用額
診療費	46,010	566,615,476	高額療養費	842	30,271,957
薬剤の支給	177	2,468,554	助産給付	74	4,880,000
その他			葬祭給付	91	910,000
計	46,187	569,079,030	計	165	5,790,000
診療費	57	729,588			
その他	5	585,603			
計	62	1,315,191			
療養諸費計	46,249	570,394,221			

(療養諸費計の7割、約4億4千万が町の負担額です)

(2)

1人当たりの医療費の比較



老人医療は本当に無料？

お年寄りの医療費について考えてみましょう。別表に見られるように五十四年度のお年寄りの医療費は一人当たり(約二十二万五千円)(全国的には(約二十八万円))となり、これは国保全体の費用の約三十三パーセントを占めています。

お年寄りの方には病気になるた安心してお医者さんにかかって早くなおしていただきたいと思ひます。お年寄りの方はお金を窓口で支払わなくてもお医



者さんにかかれます。でもその医療費の大部分は、みんなが出

し合っている国保税等で支払われているのです。日頃から健康に留意し、早期治療に心がけ、医療費の節約に協力してください。

国保税は国保 の大切な財源

国保はみんなが出し合ったお金(国保税)で賄われております。今、町の国保は火の車、みんなが使う医療費は国保税だけでは足りず、国の補助金を加えてやっと支払われています。国保税は納期内に納め、国保財政に御協力ください。

- 一、町の行う検診等は必ず受診し、病気の早期発見、早期治療に心がけましょう。
- 二、健康管理に注意し、病院で早めに診察を受けましょう。
- 三、休日・時間外・深夜の受診はできるだけ避けましょう。
- 四、病気の乱受診はひかえ、かかりつけのお医者さんをもつようにしましょう。
- 五、もらったクスリは無駄にしないようにしましょう。



家庭医療 不眠 運動などで気分転換を

なかなか寝つけない、寝ついてもすぐ目が覚めてしまう、眠りが浅く熟睡できない、眠れない状態が何日も続くと顔にも疲れが出てきます。

不眠には、気疲れから眠れない場合と、病気があるために眠れない場合があります。「眠れない」という訴えはさまざまで、布とんを日に干したまま、不眠ノイローゼや不眠神経症で眠れない場合は、本人が眠れないと感じているだけで、必要な睡眠をとっているケースが多いようです。

◇眠れないで運動を◇

「眠れない」ことでよくよくしないこと。難しいことですが、不眠にこだわらないで、むしろ気分転換に神経を使ってみましょう。運動などで適度に体を疲れさせると体が休養を要求する

ようになります。入浴、夜食、寝酒も効果があります。入浴は心身の緊張をときほぐし、うどんなどの軽い夜食をとると脳にたまった血液が胃に集まり、脳が休まります。お酒は、飲み過ぎはむしろ逆効果ですが、少量なら脳の緊張が解きはぐれ、ぐっすり眠れます。

◇不眠が長期間続いたら◇
神経症や、高血圧症などの血管の病気があるとき、あるいは糖尿病などの場合は、夜、排尿のために目が覚めて眠れなくなることもあります。



(3)



壱崎部落に共同アンテナ完成

池田の壱崎部落にrippana共同アンテナが完成、部落民は鮮明で美しいテレビの映像に大変喜んでおられます。壱崎部落は、テレビの写りが不鮮明であることから県が実施しているテレビ共同受診施設設置事業を取り入れテレビの難視聴の解消を図ったものです。事業費が279万円で国県補助金が147万5千円、町費が83万5千円、地域負担が48万円(各戸2万円負担)となっております。

2月18日、県の完成検査が行われ、引き渡し済み部落全員で完成祝いが行われました。

この事業は、松坂部落、命苦部落について3番目の事業でした。



89組の夫婦が結婚50周年を祝う

結婚50周年を祝う金婚式を迎えられた町内89組、170人の夫婦が一同に集まり、町合同金婚式を開催。会場の福祉センターでは、仲睦まじい夫婦の笑顔と年輪を感じさせるひきしまった顔が勢ぞろい。

町長式辞のあと出席者を代表して谷口盛助・スエさん夫婦が三献の盃をかわしました。その後全員に御神酒をふるまいました。緊張した中での三献の儀では、盃を持つ手が感動と喜びでかすかに震えているようでした。戦前・戦中・戦後を生きぬいてこられた皆さんのご苦勞をねぎらうとともに、今後も夫婦仲良く、いつまでも長生きされることを心から祈りたいと思います。



第5区からトップを奪った町青年団は独走体制にはいり、連続優勝に期待が持たれましたが根占に逆転され惜しくも2位に終わりました。

郡青協駅伝で準優勝

〔出場選手〕

- 一区 福岡良和(上ノ宇都)
- 二区 福岡浩昭(上ノ宇都)
- 三区 竹原政洋(岩元)
- 四区 上園鹿人(半ヶ石)
- 五区 馬込正則(笹原)
- 六区 木下順一(段中野)
- 七区 宮原弘和(塩屋)
- 八区 大久保富士子(大久保)
- 九区 宮下重道(上ノ宇都)
- 十区 水流佳文(皆倉)
- 十一区 佐多健一(笹原)
- 十二区 長元幹富志(鳥浜)
- 十三区 永山光昭(落河)

おしらせ

郵便箱と表札を 設置しよう

郵便局では、大切な郵便を確実に届けるため、郵便箱と表札の設置を呼びかけています。郵便物が雨で濡れたり、誤配等をなくするため、郵便箱、表札の設置にご協力ください。郵便受箱の規格品を郵便局であつせんしています。

。価格は一箱 千四百円

電話局から

電話機の移転は転居の一週間前に連絡を

三月、四月は引っ越しのシーズン。転居される際の電話機の移転は、転居の一週間前にご連絡ください。電話機は、そのままです。

。連絡先→二〇四二一(無料)大根占電報電話局業務課へ

国民年金(福祉年金は除く)の三月期の年金支払額は、昨年十一月期の支払額よりも下回った額になります。理由は、昭和五十五年度には国民年金法の改正が十月に行われ、その実施が七月にさかのぼり、年金額も七月分から増額改定されました。ところが、七月分と八月分については、すでに改定される前の年金額によって九月に支払済みであったため、その差額分を追加払いする必要が生じたわけですから、その差額分について

国民年金

三月期支給額は 前期分より少ない

では、法律改正があった直後の支払月である十一月期(障害年金・母子年金等は十二月期、以下同じ)の年金支払額と一緒に支払われました。したがって、昨年十一月期の年金支払額は、本来の支払分である九、十、十一月分のはかに、七、八月分の法律改正による差額分が上乗せされていたわけですから、三月期の年金支払額が、昨年十一月期の年金支払額より少なくなっているのです。

農林業の祭典に ドット一千人

第一回町農林業祭

第一回農林業祭が二月十五日、町福祉センターで盛大に開催されました。

これは、本町の基幹産業である農林業の振興と農林業者の意欲と経営の充実を図ってもらうと町が農協を始め農業後継者クラブ等各種団体の協力をもらい開催したものです。

祭典は、大西町長のあいさつに始まり、一般労働者として町長坂元左武郎氏を始め各部門

ごとに十六人を表彰。つづいて「林業経営について」後釜光徳さん(六反田部落)が「部落の歩み」と題して青木稔さん(半ヶ石部落)が体験発表をされたあと、「町内農林業系統全組織をあげて豊かで住みよい、平和



農林業の充実を訴える町長



△ 林業部門で表彰を受ける池田達志氏

な農村建設に努力する」との農業者宣言を決議しました。式典のあとは各おどり同好者の芸能が披露されました。そのほか当日は農林技術資料や生活改善グループの農産加工品、廃物利用作品の展示を始め、農機具の展示実演や後継者クラブ員による農産品の展示即売会、婦人会によるうどん、ソバの販売など盛りだくさんの内容で賑わいました。参加者は千人を超え、準備したべんとう、記念樹はたちまちなくなるほどの盛況ぶりでした。

今回の農林業祭に対して関係者は反省を加えながら次回もっと充実した農林業祭にしようと話しています。

見ごとにはえた
シイタケの群れ



農産品の即売会も賑わう



△ 注目を集めた抽選会

戸籍に関する情報は ホームページ上では 掲載していません

善意の話題

町社協へ

社会奉仕事業費にと次の方々から、香典返しにかえ寄付がありました。厚くお礼申し上げます。故人のごめい福を祈ります。

() は故人

梅谷 良寛(フヂエ) 神川新町
迫 チエ(畛五郎) 山ノ口
笑喜 一夫(イセミツ) 笑喜上
堀ノ内清治(キクエ) 旭町
馬込 ツギ(仲三) 笹原
徳永 要(オトゲサ) 皆倉
山崎マリエ(チヨマトツ) 神二区

。すずしろの里へ

鹿児島の太陽の里から

缶ジュース

。川内市の厚ヶ瀬由紀子さん

。鹿屋市の梅北常蔵さんから

みかん

。鹿屋市の福島トミエさんから

花・みかん

。伊集院町太陽の里

。本町の原製菓舗から

。牧園町の始良伊佐地区身体障

害者福祉協議会から

。鹿児島市の川畑フミさんから

あられ

ふるさとを語ろう

関東大根占町人会総会を開催

日時 昭和56年4月19日(日曜日)
場所 東京都品川区上大崎1-20-27 三州倶楽部
電話 → 03-447-6776

〔事務局よりお願い〕

昭和55年1月以降当地区に転入された方は、住所・氏名・電話番号をお知らせ下さい。多数の参加をお願いします。
連絡先 横浜市緑区もみの木台17-19 関東大根占町人会
事務局 長浜清光宛〔電話045-901-3013〕